



イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

お客様本位の業務運営に関する取組状況

2023年4月～2024年3月



目次

取組状況の振返り

方針1	お客様の最善の利益の追求	3
方針2	利益相反の適切な管理	4
方針3	手数料等の明確化	5
方針4	重要な情報の分かりやすい提供	6
方針5	お客様にふさわしいサービスの提供	10
方針6	役職員に対する適切な動機づけの枠組み等	18
資料	運用成果の継続モニタリング	19

各方針の詳細については、弊社HPに掲載の「[お客様本位の業務運営](#)」について（[全文](#)）をご参照ください。
各ページ左側の **方針**  をクリックすると全文の該当ページが表示され、方針の詳細（**方針1-1**など）をご確認いただけます。



当社は、お客様に誠実・公正・忠実に業務を行い、お客様にとって最善の利益を追求してまいります。その為にも、目指すべき業務運営実践の基礎となる企業文化と高い職業倫理の共有を最も重要な経営課題として位置付けます。

取組状況の振返り 方針1-1

方針1 お客様の最善の利益の追求

原則2* 「顧客の最善の利益の追求」に対応



お客様の最善の利益を追求することを経営上の最優先事項と位置づけ、高度な専門性と職業倫理の徹底により高品質のサービス提供に努めています。



イーストスプリンググループでは、「顧客満足度の向上」を最重要課題として掲げ、人事施策に反映させるとともに、オペレーション及び運用戦略の高度化、お客様への情報提供などに取組んでいます。



当社及び当社グループの全役職員を対象としたタウンホール・ミーティングや研修を通じ、誠実・公正・忠実な業務運営の重要性を説明する等、お客様本位の業務運営が企業文化として定着するよう働きかけを行っています。



月次のニュースレターを通じ、社長自らが経営陣の取り組みや、各部の取り組みについて情報発信を行い、全役職員のエンゲージメント向上に取り組んでいます。



方針2

利益相反の適切な管理

原則3「利益相反の適切な管理」に対応

当社は、お客様の利益を優先し、お客様の利益を害することがないよう業務を遂行します。そのため、利益相反管理に係る基本原則及び、利益相反の可能性のある事例の特定やその対処方法などを明確にした「利益相反管理規程」を定めるとともに、同規程等を定期的に見直すことによって、実効性のある、適切な管理体制を構築していきます。

取組状況の振返り 方針2-1



当社は、お客様の利益を最優先とすることを常に念頭に置き、「利益相反管理規程」に基づき、**利益相反の可能性のある取引**に対する管理を厳格かつ確実に実行することにより、**健全な業務運営**を継続しました。



<運用に関する利益相反管理>

- **運用委託先での利益相反**がないことを月次等で確認しています。
- スチュワードシップ委員会が、**スチュワードシップ活動に係る利益相反**を管理しています。
- 日本株の**議決権行使における利益相反**については、経営委員会で検証するとともに、社外取締役が議長を務めるファンド・ガバナンス委員会でもスチュワードシップ活動を監督する目的で、議決権行使結果を検証する体制を整備しています。



<ファンドに関する利益相反管理>

- ファンド諸経費に関し、社内ガイドラインの厳格な運用により適切な管理を確保しています。
- 毎月開催するファンド経費ワーキング・グループにおいて、**ファンド諸経費をめぐる各段階**（契約、請求書受領、計上等）における妥当性等を報告あるいは承認しています。



<業務全般に関する利益相反管理>

- 接待・贈答、役職員自己取引、業務委託先・サービス提供業者の選定やモニタリング、CSR活動等**様々な状況での利益相反**の管理を、グループのシステムも活用し、多角的・効率的に実施しています。
- 当社の利益相反管理全般の適切性に関して、年次でリスク・コンプライアンス委員会で報告、確認を行っています。
- 2023年には、利益相反管理規程を改訂し、役員による兼業手続きの厳格化を図りました。



当社が提供する投資信託商品については、お客様が負担される手数料その他の費用の詳細を、目論見書や販売用資料等において開示します。当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、お客様にとって分かりやすいような開示に努めます。

取組状況の振り返り 方針3



当社は、目論見書や販売用資料などにおいて、**お客様が負担する手数料その他の費用の詳細**を、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め分かりやすく開示しています。



開示情報の充実を目的に、運用報告書で開示していた**総経費率**を、**2023年4月より目論見書でも開示**しています。ファンド本体だけでなく、投資対象とする外国投資信託の費用の詳細を確認し、適切な開示を行っています。また、費用項目については、お客様に分かりやすいよう、出来る限り詳細に情報開示しています。目論見書での開示開始にあたっては、用語の統一を図り、対象期間を明確にするなど、お客様に分かりやすく正確な開示を心がけました。

方針3 手数料等の明確化

原則4「手数料等の明確化」に対応

【ファンドの費用・税金】

ファンドの費用・税金									
<ファンドの費用> 投資者が直接的に負担する費用									
購入時手数料	3.3%(税込3.0%)を上限として販売会社がそれぞれ別に定める率を、お申込受付日の翌営業日の基準価額に乗じて算出します。 購入時におけるファンドや関連する投資環境の提供および情報提供、購入に関する費用等と同等として、販売会社にお支払いいただくものです。								
信託財産留保額	現金の受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額とします。								
投資者が信託財産で間接的に負担する費用									
運用管理費用(信託報酬等)	純資産総額に対して年率1.3497%(税込1.227%)計算期間を通じて毎日費用として計上され、日々の基準価額に反映されます。信託財産からは毎計算期末または信託終了時に支払われます。 $\text{信託報酬} = \text{運用期間中の基準価額} \times \text{信託報酬率}$								
当ファンド①	<table border="1"> <tr> <th colspan="2"><当ファンド①の配分></th> </tr> <tr> <td>委託会社</td> <td>年率0.5500%(税込0.500%)</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>年率0.7700%(税込0.700%)</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>年率0.0297%(税込0.027%)</td> </tr> </table>	<当ファンド①の配分>		委託会社	年率0.5500%(税込0.500%)	販売会社	年率0.7700%(税込0.700%)	受託会社	年率0.0297%(税込0.027%)
<当ファンド①の配分>									
委託会社	年率0.5500%(税込0.500%)								
販売会社	年率0.7700%(税込0.700%)								
受託会社	年率0.0297%(税込0.027%)								
投資対象とする投資信託(等)	年率0.60%程度								
実質的な負担(①+②)	年率1.9497%程度(税込)								
その他の費用・手数料	信託事務の処理等に要する経費用(監査費用、目論見書および運用報告書等の印刷費用、公告費用等)は、純資産総額に対して年率0.10%を上限とする額が毎日計上され、日々の基準価額に反映されます。信託財産からは毎計算期末または信託終了時に支払われます。また、租入有価証券等の売買時の売買委託手数料、外国における税務の申告等に要する費用、信託財産に関する租税等についても信託財産から支払われます。 [その他の費用・手数料]は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示することができません。								

*投資者のみなさまが負担する費用の合計額は、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

【ファンドの総経費率】

《参考情報》ファンドの総経費率		
対象期間：2023年8月22日～2024年2月20日		
総経費率(①+②)	①運用管理費用の比率	②その他費用の比率
1.86%	1.35%	0.51%

※対象期間の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、購入時手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)を対象期間の平均受益権口数に平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した値(年率)です。
 ※その他費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みます。
 ※投資先ファンドの費用は、計上された期間と異なる場合があります。
 ※これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
 ※詳細につきましては、対象期間の運用報告書(全体版)をご覧ください。



当社は、お客様に、当社の運用する商品や戦略を正しく理解していただけるよう、重要な事項に関する適切な開示に努めます。また、お客様のニーズに合わせた、より付加価値の高いサービスや情報の提供を目指します。

取組状況の振返り
方針4-1、方針4-2、方針4-5



販売会社が作成する重要情報シートにおいて、お客様が他の金融商品と比較することが可能となるよう、過去の収益率、リスクの内容、手数料などについて情報提供を行っています。

方針4
重要な情報の分かりやすい提供

原則5「重要な情報の分かりやすい提供」に対応

取組状況の振返り
方針4-3



2023年7月31日設定の新ファンド「イーストスプリング・インドネシア株式ファンド（資産成長型）愛称：+αインドネシア（プラスアルファインドネシア）」を含む、オンライン専用・低コストアクティブファンドシリーズ「+αシリーズ」のWEBサイトでは、投資対象となる市場の**株価や為替などの情報をインタラクティブ形式（※）**で提供しています。また、**長期資産形成のポイントや積立シミュレーション機能**など、長期投資の重要性について理解を深めていただけるよう工夫しています。
（※）複数の期間の過去データから閲覧したい期間を選択する形式です。



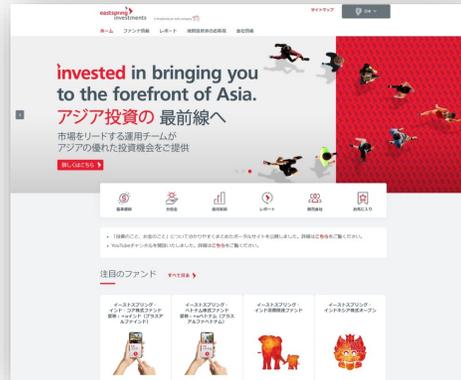


取組状況の振り返り 方針4-3

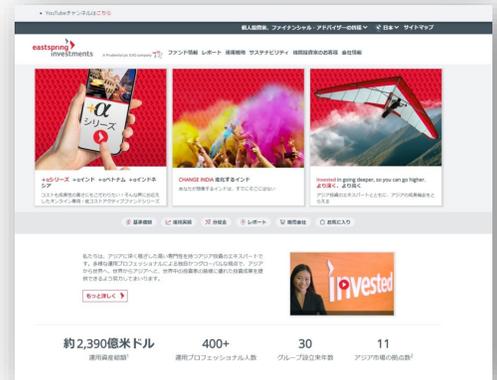


2023年6月にウェブサイト进行全面改訂しました。
トップページ最上部のバナーで一覧性を高め、お客様にとって見やすいデザインに変更しました。

(旧サイト)



(新サイト)



方針4 重要な情報の分かりやすい提供

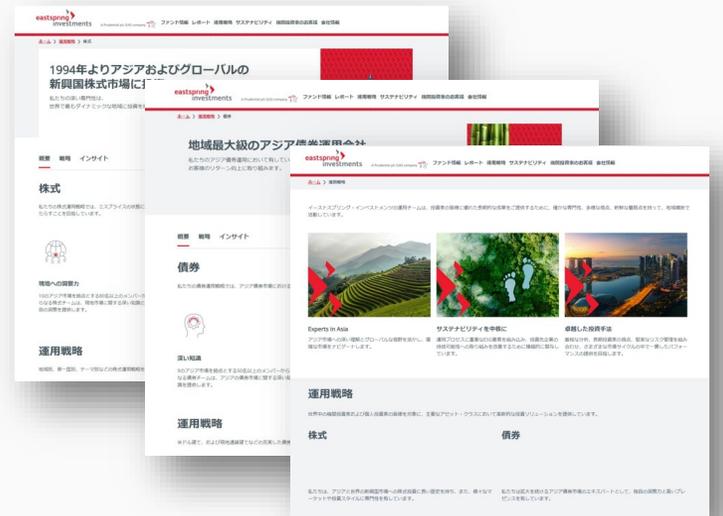
原則5「重要な情報の分かりやすい提供」に対応

また、運用哲学をよりご理解いただくために重要な、**ESG（環境・社会・ガバナンス）**に関連する情報や、株式及び債券の運用戦略を紹介するページなどを拡充しました。

(ESG関連ページ)



(運用戦略関連ページ)





取組状況の振り返り 方針4-4



お客様向け販売用資料では、投資対象国の情報やリスク要因、市場の特性なども分かりやすく情報提供しています。

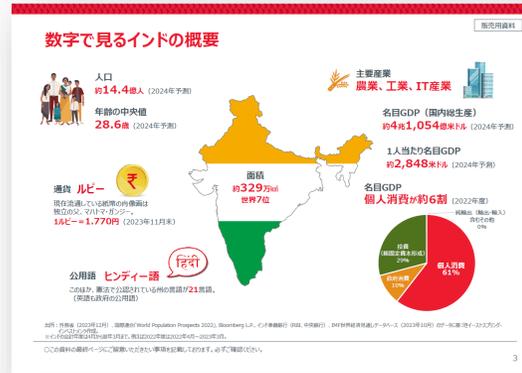
インドの概要をキーワードで分かりやすくご紹介

リスク要因として重要なインフレについて解説

方針4

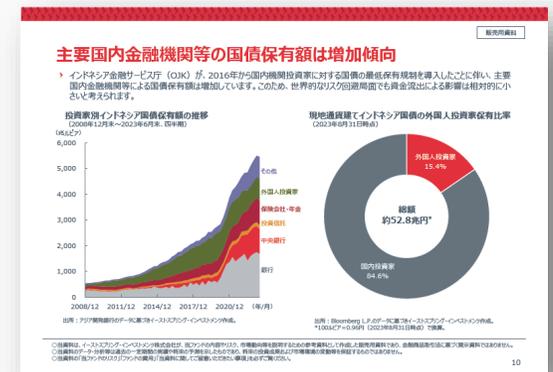
重要な情報の分かりやすい提供

原則5「重要な情報の分かりやすい提供」に対応



国債のリターンと格付けの推移を複数国で比較

国債の投資家比率などで市場特性を紹介





方針5

お客様にふさわしいサービスの提供

原則6「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応

当社は、資産運用のプロフェッショナルとして、高度な専門性と豊富な知見を活用し、お客様の長期的な資産形成に貢献するための運用商品を提供します。また、お客様からお預かりした資産に関する運用リスク管理と適切なモニタリングを通じて、運用商品の品質の維持と向上に努めます。

販売会社が当社の提供する金融商品・サービスの販売・推奨等を行う際には、お客様の資産状況、取引経験、知識および投資目的・ニーズを十分に把握し、適切な提案を行うよう販売会社に要請します。また、機関投資家のお客様に対しても、お客様の投資方針や資産運用ニーズを十分に把握した上で、適切な運用戦略の提案を行います。

なお、当社では直接個人のお客様に対して金融商品・サービスの販売・推奨等は行っていません。

取組状況の振返り

方針5



既存ファンドについて、お客様のニーズを踏まえた上で商品性の改善余地はないか、議論を行っています。

例：

商品の品質向上に向けた取り組み

- 運用管理費用などの引下げ：「イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド」、「イーストスプリング・グローイング・アジア株式オープン」
- 国別の基本配分比率の見直し：「イーストスプリング・グローイング・アジア株式オープン」
- 運用プロセスの見直し：「イーストスプリング・新興国スタープレイヤーズ」

新NISAに向けた取り組み

お客様の長期的な資産形成に資する新NISAの商品ラインナップの充実を図るべく、一部商品の商品性の改善を行いました。2024年3月末時点で合計14ファンドが新NISAでご購入いただけます。

- 信託期間の無期限化
- デリバティブ使用目的の明確化

新NISA対応ファンド一覧

ファンド名称	主な投資対象資産
イーストスプリング・インド株式オープン	インド株式
イーストスプリング・インド株式ファンド（3カ月決算型）	
イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド	
イーストスプリング・インド消費関連ファンド	
イーストスプリング・インド・コア株式ファンド	
イーストスプリング・インドネシア株式オープン	インドネシア株式
イーストスプリング・インドネシア株式ファンド（資産成長型）	
イーストスプリング・フィリピン株式オープン	フィリピン株式
イーストスプリング・ベトナム株式ファンド	ベトナム株式
イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド	日本株式
イーストスプリング・グローイング・アジア株式オープン	アジア株式
イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（年2回決算型）	インド債券
イーストスプリング・インドネシア債券オープン（年2回決算型）	インドネシア債券
イーストスプリング・US投資適格債券ファンド・為替ヘッジ付（年2回決算型）	米国債券



方針5

お客様にふさわしいサービスの提供

原則6「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応

取組状況の振返り 方針5



既存ファンドのモニタリングと適切性評価：各ファンドの運用パフォーマンス及び投資行動、投資環境などについての理解・分析や、流動性リスクを含む各種運用リスク管理について継続的にモニタリングを行い、運用委託先及び組入投資信託証券の適切性については定期的に検証・評価しています。



年次ファンドレビュー：当社ではプロダクト・ガバナンスの一環で「年次ファンドレビュー」として、既存ファンドに対して様々な観点からの包括的な再点検を実施しています。同レビューではファンドが想定している商品性やリターンを顧客にご提供できているか、想定する顧客層を特定し適切な情報をお伝えできているか等を含め多角的に検証を行い、必要に応じて商品委員会にて商品性の変更や繰上げ償還の検討・決定を行います。これらのレビューは当社グループの商品部門でも再検証される体制となっております。



スチュワードシップ活動の取組状況：当社では運用委託先で行われるスチュワードシップ活動の実施状況についてモニタリングをしています。また、日本株式については、日本版スチュワードシップ・コードに則り、議決権行使結果（個別開示を含む）の公表、及び、当社グループにおけるスチュワードシップ取組方針等の実施状況に関する自己評価の公表をウェブサイトにて行っています。



ファンド・ガバナンス委員会：社外取締役を議長とするファンド・ガバナンス委員会では、ファンド運営に係る商品委員会、投資運用委員会など各種委員会での承認・報告事項がお客様本位の業務運営に沿っているかを検証し、社内へ提言、必要に応じて勧告を行います。また、議決権行使に係る利益相反は経営委員会での検証に加え、ファンド・ガバナンス委員会でも再検証しています。



方針5

お客様にふさわしいサービスの提供

原則6「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応

取組状況の振返り 方針5



販売会社とのコミュニケーションの内容を社内で迅速に共有するほか、運用委託先にもお客様のニーズを直接伝えることで、相互の理解を深めお客様のニーズに沿った投資信託の提案、推進が迅速に行えるように努めています。



機関投資家に直接運用戦略の提案、紹介を行う際には、過去の運用実績のみならず、定性面から投資哲学、組織体制、運用プロセスなどを十分に説明することで、お客様の投資方針や運用ニーズに合致していることを確認しています。



投資信託の運用に係るお客様のコスト負担については、商品開発時から運用開始後も継続的に妥当性について検討し、透明性の高い管理体制を維持しています。

取組状況の振返り 方針5-1、方針5-2



販売会社における金融商品サービスの販売・推奨の際に、お客様のご意向に沿った具体的な提案や、類似商品・サービスなどとの比較が可能となるよう、情報提供を行っています。

例：

- 販売会社が作成する重要情報シート向けの情報提供
- お客様へのフォローアップとして、自社コールセンターや販売会社を通じたお問い合わせ対応



方針5

お客様にふさわしいサービスの提供

原則6「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応

取組状況の振返り 方針5-3、方針5-4



低コストアクティブファンドの設定：
「イーストスプリング・インドネシア株式ファンド（資産成長型）愛称：+αインドネシア」の提供を開始しました。**+αシリーズは合計3ファンド、純資産残高はシリーズ合計約214億円（2024年3月末時点）まで成長しております。**



新商品組成時の取り組み：
お客様の利益を第一に考え、インベストメントチェーン全体の健全な成長の為に、運用管理態勢や実績、内部管理態勢、各種規制・諸規則などの事前審査及び評価を行い、想定するお客様にふさわしいかについての商品性検証や、持続的に運用商品を提供可能かの確認を行っています。また、商品設定後1年経過時には、当初想定した投資目的通りの運用となっているか、投資家・販売会社からのフィードバックを含め、レビューを行っています。



方針5

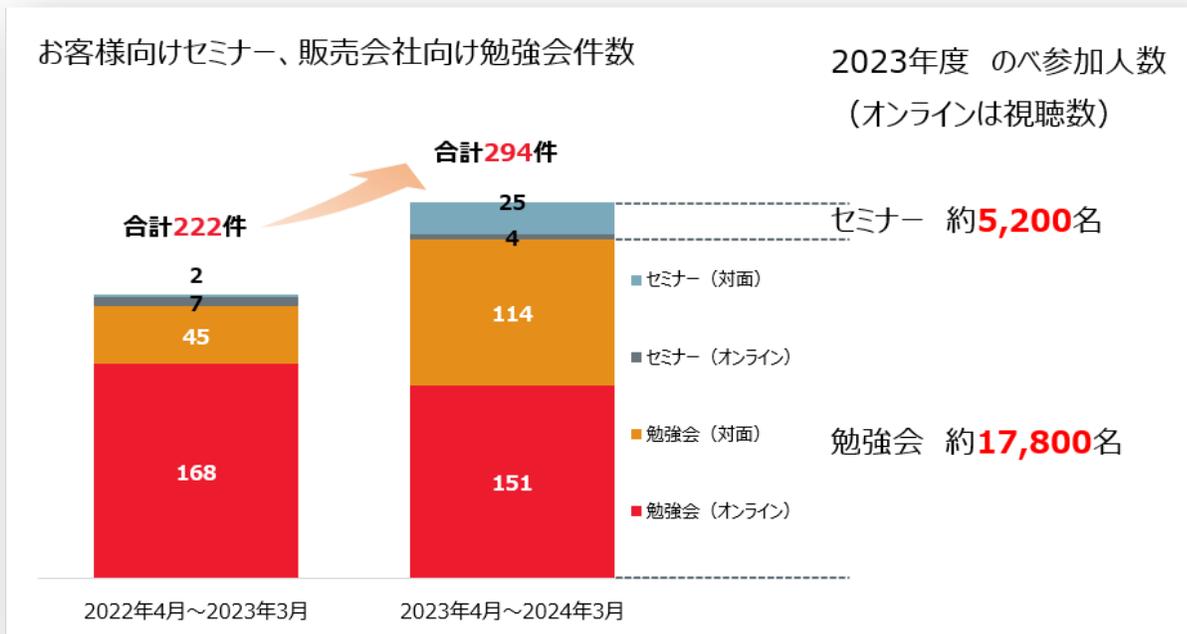
お客様にふさわしいサービスの提供

原則6「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応

取組状況の振返り 方針5-5



お客様、販売会社向け情報提供のため、対面、オンラインを活用したセミナー、勉強会を積極的に実施しています。



投資対象地域や市場環境などについて理解と関心を深めていただき、投資判断の一助としていただけるよう、様々な情報・レポートを当社ウェブサイト・YouTubeより発信しています。

情報提供資料の例 (2023年4月～2024年3月)	件数
インドネシア・ウィークリー	50
インド投資マンスリー	12
インド投資マンスリー (動画)	12
スペシャルレポート (翻訳版)	33



取組状況の振り返り 方針5-5



イーストスプリング・インベストメンツ株式会社 – YouTube公式チャンネルでは、様々な情報を定期的に配信しています。また、X（旧Twitter）では、レポートや動画配信時にアナウンスも行っています。

例：「インド投資マンスリー-2024年1月号
（インド運用拠点CIOが語るインド株式市場2023年の振り返りと2024年の見通し）」

方針5

お客様にふさわしいサービスの提供

原則6「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応



SENSEX指数のEPSは高い成長が期待される
SENSEX指数の1株あたり利益（EPS）の推移
(2018年度～2024年度、2023年度以降は予測値)

年度	EPS (円)	増減率
2018	~1,500	-
2019	~1,500	-
2020	~1,800	-
2021	~2,200	-
2022	~2,600	+13%
2023	~2,800	-
2024	~3,100	+10%

私達は引き続きインド株式市場を中長期的に強気に見ています。

「2023年インド株投信の運用状況振り返り～インド株式市場動向と今後の注目ポイント～」



インド株式投資の魅力
インドは人口ボーナス期に突入、今後の本格的な株価上昇に期待

国	人口ボーナス期	株価の推移 (円)
日本	1963年～2002年	28.9倍 (ピーク)
中国	1996年～2014年	10.7倍 (ピーク)
インド	2019年～2051年	2.0倍 (ピーク)



取組状況の振り返り 方針5-5



投資対象国の株式や為替などの市況に限らず、身近な話題を通じて、社会や文化にも理解を深めていただけるよう、インドの“そうなの？！”を集めた『**インドにピント**』を全6回発行しました。

Vol.1 祝「RRR」アカデミー賞受賞！
注目されるインド映画
(2023年5月1日)

Vol.2 3分でわかる！インド式計算！
～IT社会をけん引するインドの教育～
(2023年5月18日)

Vol.3 世界的企業のCEOに
インド出身者が多いワケ
(2023年5月26日)



Vol.4 ナンだって？！
インド人はナンをそんなに食べない…？
(2023年8月17日)

Vol.5 屋根にはもう乗らない？！
インドの鉄道の今！
(2023年8月25日)

Vol.6 人類史上初！
インドのスマートフォン事情
(2023年9月1日)



方針5

お客様にふさわしいサービスの提供

原則6「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応



取組状況の振り返り
方針5-5



「スペシャルレポート（翻訳版、計33本）」で、専門性の高い情報をご提供しています。

例：アジアエキスパートシリーズ

「豊富な天然資源が支える新たなアジアの成長分野」
(2023年4月5日)



「アジアのよりグリーンな未来への道」
(2023年5月24日)



「アジア 2.0 新たなチャンスの時代への投資」
(2023年6月30日)



方針5

お客様にふさわしいサービスの提供

原則6 「顧客にふさわしいサービスの提供」に対応



「2024年の市場展望
転換期を乗り越え投資機会を
つかむ」
(2023年12月6日)



方針6

役職員に対する適切な動機づけの枠組み等

原則7「従業員に対する適切な動機づけの枠組み等」に対応

当社は、お客様本位の業務運営を行うため、投資運用業に係る意思決定プロセスを明確にし、適切なガバナンス体制を整備します。コンプライアンス・マニュアル、利益相反管理規程を始めとする社内規程について適宜見直しを行い、法令等遵守及び内部管理に係る方針・社内体制を整備します。

取組状況の振り返り 方針6-1



当社では、全役職員が研修、ワークショップを通じ、「お客様本位の業務運営」を中心とする企業文化の醸成・浸透を図ると共に、エンゲージメント向上につながる取り組みに積極的に参加が出来る環境づくりを行っています。

実施した研修等

- 全役職員対話会議（タウンホール・ミーティング）（5回）
- 当社バリューに関するワークショップ
- 企業文化についてのセッション「自分と会社とのかかわり方」
- 当社主要商品の全役職員向け勉強会
- 年次コンプライアンス研修（年2回）
- 年次広告審査研修
- 2023年度のリスク・コンプライアンス研修（10テーマ）
利益相反、マネーロンダリング防止、贈収賄防止、詐欺行為、情報管理及び役職員個人証券取引、内部通報制度、コーポレート・コミュニケーション、情報セキュリティ、個人情報管理
- CSR 社外講師による「子供の教育支援」についての講演
- CSR 中高生対象のキャリアイベントを開催
- 全役職員対象の心理的安全性の研修トレーニング

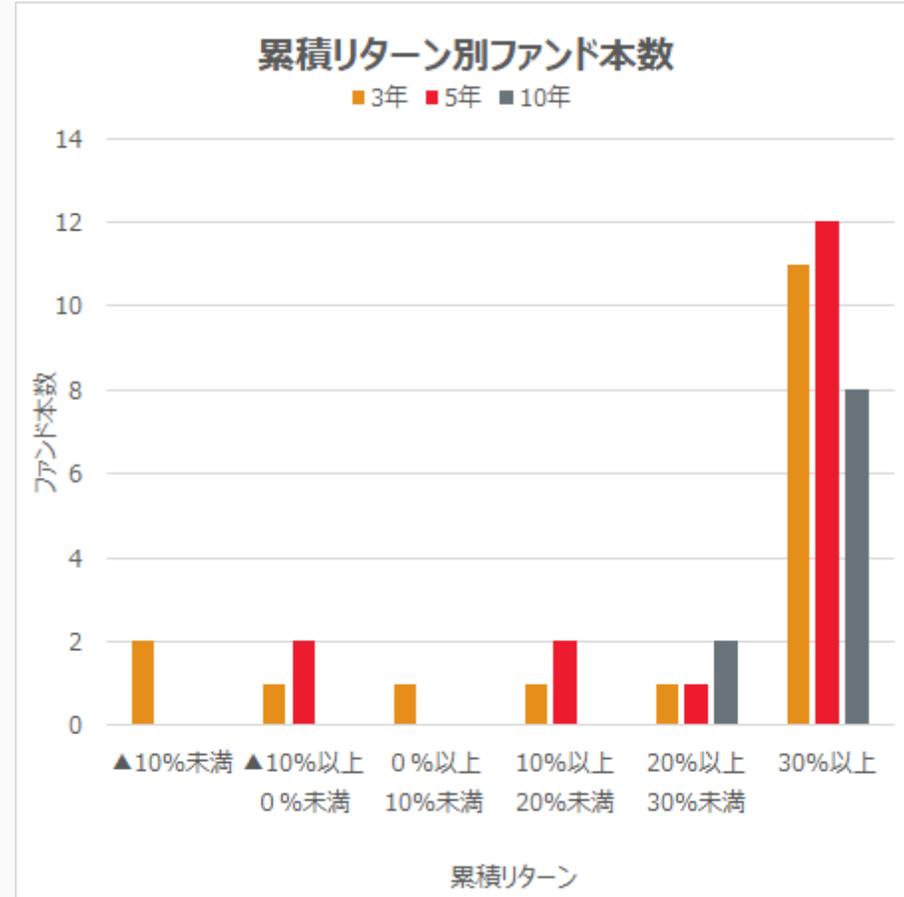
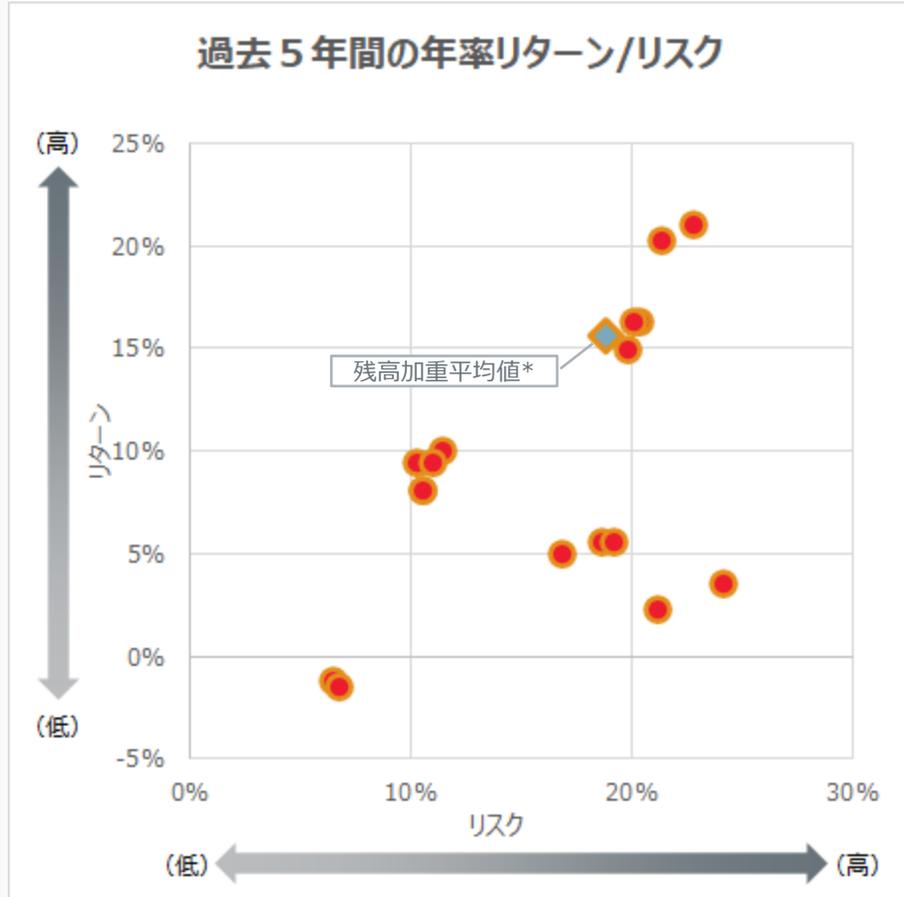


お客様本位の業務運営への取り組みとして、下記の人事評価制度を採用しています。

- 毎年各人の目標としてお客様本位の業務運営、当社の行動指針であるバリューを設定
- 目標設定の際に定量目標と定性目標の適正配分を毎年継続的にレビュー
- 業績評価と共にお客様本位の業務運営に関する取り組みについても相互に評価し、理解と実行を促進

資料 運用成果の継続モニタリング

過去5年のリターンにおいては、対象ファンド17本中15本がプラスのリターン、2本がマイナスのリターンとなりました。
 過去10年のリターンでは、対象ファンド10本すべて、過去3年では17本中14本がプラスのリターンとなりました。
 また、3年、5年、10年のすべての期間において、ほとんどのファンドが累積リターン30%以上となりました。



*残高加重平均値：対象ファンド17本の2024年4月末時点における純資産総額に基づき、リスクとリターンを加重平均したものです。リスク18.8%、年率リターン15.6%となりました。
 当社では、運用成果（パフォーマンス）は、お客様が当社の運用サービスを評価する上で最も重要な指標と考え、継続的なモニタリングを行っております。
 上記グラフは、金融庁の定義する比較可能な共通KPI（成果指標）の考え方に基づき算出したものです。

資料 運用成果の継続モニタリング（ファンド一覧）

ファンド名	設定日	信託報酬 (実質的な 負担、%)	3年			5年			10年			
			リターン		リスク	リターン		リスク	リターン		リスク	
			累積	年率換算	年率換算	累積	年率換算	年率換算	累積	年率換算	年率換算	
1	イーストスプリング米国高利回り社債オープン	2003/01/30	1.815	38.5%	11.5%	9.8%	56.1%	9.3%	10.3%	91.6%	6.7%	10.4%
2	イーストスプリング・インド株式オープン	2004/09/30	1.9497	82.1%	22.1%	16.2%	111.9%	16.2%	20.4%	218.4%	12.3%	20.0%
3	イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン（毎月分配型）	2006/03/30	1.76	4.7%	1.6%	17.7%	30.6%	5.5%	18.7%	56.1%	4.6%	17.6%
4	イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド	2006/11/08	1.9497	115.9%	29.2%	18.2%	158.4%	20.9%	22.8%	319.7%	15.4%	22.2%
5	イーストスプリング・グローイング・アジア株式オープン	2007/06/29	1.688	18.6%	5.9%	14.7%	27.0%	4.9%	16.9%	64.4%	5.1%	16.4%
6	イーストスプリング・インド株式ファンド（3ヵ月決算型）	2007/12/18	1.9497	81.8%	22.1%	16.1%	112.0%	16.2%	20.2%	216.3%	12.2%	19.8%
7	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2008/05/30	1.9497	96.3%	25.2%	17.3%	150.5%	20.2%	21.5%	333.7%	15.8%	20.5%
8	イーストスプリング・インドネシア株式オープン	2009/11/30	1.888	45.9%	13.4%	17.1%	18.1%	3.4%	24.2%	22.5%	2.0%	23.5%
9	イーストスプリング・インドネシア債券オープン（毎月決算型）	2012/02/29	1.649	43.6%	12.8%	10.4%	60.3%	9.9%	11.6%	77.5%	5.9%	12.4%
10	イーストスプリング・フィリピン株式オープン	2012/09/28	1.775	23.2%	7.2%	18.4%	11.2%	2.2%	21.2%	21.2%	1.9%	19.7%
11	イーストスプリング・ジャパン中小型厳選バリュー株ファンド	2014/08/08	1.683	59.5%	16.8%	16.1%	99.8%	14.8%	19.8%	斜線表示		
12	イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）	2015/02/10	1.694	32.9%	9.9%	9.9%	46.7%	8.0%	10.6%	斜線表示		
13	イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（年2回決算型）	2015/04/10	1.694	33.0%	10.0%	9.9%	47.0%	8.0%	10.6%	斜線表示		
14	イーストスプリングU S投資適格債ファンド・為替ヘッジ付（毎月決算型）	2016/05/10	0.993	-14.5%	-5.1%	5.9%	-6.2%	-1.3%	6.6%	斜線表示		
15	イーストスプリングU S投資適格債ファンド・為替ヘッジ付（年2回決算型）	2016/05/10	0.993	-14.7%	-5.2%	6.3%	-7.5%	-1.5%	6.8%	斜線表示		
16	イーストスプリング・インドネシア債券オープン（年2回決算型）	2018/02/28	1.649	40.4%	12.0%	9.8%	56.1%	9.3%	11.0%	斜線表示		
17	イーストスプリング新興国スタープレイヤーズ	2018/10/26	1.98	-3.3%	-1.1%	18.3%	30.3%	5.4%	19.3%	斜線表示		

※信託報酬は、本資料作成時点の料率（税込み）を記載しています。

<当社が設定・運用する公募投資信託の運用実績について>

上記は、当社が設定・運用する公募投資信託の内、2024年3月末時点で運用期間が3年経過したファンドについて表示しています（募集終了したファンドを除きます）。リターンは、各ファンドの基準価額（課税前分配金再投資）のデータを使用し計算しています。ただし、購入時手数料や信託財産留保額は含まれません。したがって実際の投資家リターンとは異なります。リスクは、同基準価額の日次騰落率の標準偏差を年率換算しています。また、運用期間がそれぞれの計測期間に満たないものは、斜線で表示しています。上記は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。ファンドのリスク及び費用の詳細は各ファンドの目論見書をご覧ください。

当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、お客様本位の業務運営に関する取組状況をお知らせすることを目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料あるいは情報提供資料でもありません。